

## 令和3年山武市教育委員会第10回定例会会議録

1. 日 時 令和3年10月21日（木）午後1時30分開催
2. 場 所 成東文化会館のぎくプラザ視聴覚室
3. 招集者 山武市教育委員会 教育長 嘉瀬尚男
4. 議 題

### 議決事項

- 議案第1号 山武市学校評議員の任命について
- 議案第2号 山武市いじめ問題対策連絡協議会委員及びいじめ問題調査対策委員会委員の任命について

### 協議事項

- 協議第1号 山武市白幡スポーツ広場の用途廃止について

### 報告事項

- 報告第1号 令和3年度全国学力・学習状況調査の結果（山武市の概要）について
- 報告第2号 行事の共催・後援について
- 報告第3号 11月の行事の予定について

出席委員	教育長	嘉瀬	尚男
	教育長職務代理者	清水	新次
	委員	今関	百合
	委員	渡邊	礼子
	委員	北田	昭雄

欠席委員	委員	木島	弘喜
------	----	----	----

出席した職員の職及び氏名

教育部長	小川	宏治
教育総務課長	川島	美雄
子ども教育課長	高野	隆博
子ども教育課指導室長	中村	之彦
施設整備課長	嘉瀬	多市
生涯学習課長	秋葉	正明
スポーツ振興課長	大谷	広貴
子育て支援課長	岩澤	恵子
子育て支援課主幹	井上	博文

事務局

教育総務課副主幹	鵜澤	秀己
教育総務課総務企画係主事	豊田	真衣

◎開 会 午後1時30分  
教育長

皆さん、ご苦労さまです。

午前中は、まつおこども園の訪問、ありがとうございました。コロナ禍でしばらく中断しておりましたが、久しぶりの訪問ということで、現場を見て、いろいろ新たに感じることも多かったかと思えます。特に今回はこども園ということで、小さい子ども達の元気な姿が見られ、少し力をもらってきたような気がいたします。

それでは、ただ今から令和3年山武市教育委員会第10回定例会を開会いたします。

緊急事態宣言は解除されましたが、引き続き感染拡大防止の取組が必要であることから、本定例会におきましても、事務局からの説明は要点のみで簡潔にさせていただき、時間短縮を図りながら進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

---

◎日程第1 会議録署名人の指名

教育長 それでは会議に入ります。日程第1、会議録署名人の指名を行います。今回は渡邊委員、お願いいたします。

渡邊委員 はい。

---

◎日程第2 会議録の承認

教育長 日程第2、会議録の承認。

令和3年山武市教育委員会第9回定例会の会議録について、事前に配付をしてありますが、皆様、いかがでしょうか。

(「異議なし。」の声あり)

教育長 異議がないようなので、教育委員会第9回定例会の会議録は承認といたします。

---

◎日程第3 教育長報告

教育長 日程第3、教育長報告。2ページをご覧ください。

9月17日から10月21日、本日までの内容となります。

9月17日、新型コロナウイルス感染症対策本部会議がございました。また、園長・副園長会議があり、出席をしています。

9月21日、東上総教育事務所の竹内管理課長がお見えになり、再任用及び管理職選考についてのお話がありました。この再任

用というのは、新聞等でご覧になっていると思いますが、校長の再任用在来年度から始まるということで、その内容についてでございました。

9月24日、市議会の閉会日で全員協議会と本会議が開かれました。議案については、全て承認をいただいております。

9月27日、第2回山武郡市広域行政組合教育委員会の定例会がございました。

9月29日、新型コロナウイルス感染症対策本部会議が開催され、9月30日に緊急事態宣言が解除されるということで、その後の対応について協議をいたしました。

10月5日、庁議、校長会議、それから新規採用職員の訓示式が行われました。教育部では、施設整備課の鈴木雄大主事補と生涯学習課の村瀬涼介主事補の2名となります。

10月6日、成東小学校の運動会があり、見学に行っております。平日開催で保護者は入らないというような状況でしたが、晴天に恵まれ、素晴らしい運動会ができていたと思います。

それから、山武市教育支援委員会。委員の入替えが若干ありましたので、その方たちの委嘱状の交付と最初のご挨拶をさせていただきました。

10月7日、山武市家庭教育講演会。成東文化会館のぎくプラザホールで開催され、最初のご挨拶をさせていただきました。講師は、東京家庭教育研究所の常盤由枝様です。「親子が笑顔になる子育て」と題して、「だいじょうぶ。気づいた時が出発点」といったお話でございました。

その後、社会教育委員会議が大会議室で開かれ、参加しております。

また、市長打合せで、実門地先通学路整備ということで、山武北小学校の区域の歩道整備をする場所が1か所ありまして、それについての状況報告を市長に行っています。

10月12日、指定管理者選定委員会が行われました。指定管理者の選定は、マザーズホーム、老人福祉センター、作業所などの社会福祉関係の内容となっております。

10月13日、組織・人事部内ヒアリング。各組織の課題等についてのヒアリングを行いました。10月14日、10月15日及び10月18日にも行っております。

10月15日、園長・副園長会議。それから、市長打合せ。先ほどご説明した実門の通学路整備についてのその後の対応について決

まったことの報告です。

10月16日、小学校の運動会。日向小、睦岡小、松尾小、蓮沼小の4校で開催されましたが、このうち行けたのは3校で、蓮沼小学校は時間が足りず行くことができませんでした。

10月18日、管内の教育長会議がございました。東上総教育事務所で開催され、所長挨拶のほか、各課長からの説明がございました。

10月20日、庁議と部内政策会議を行っています。

10月21日、本日ですが、午前中、まつおこども園訪問。そして、教育委員会第10回定例会となります。

以上でございます。何かご質問等はございますか。よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

**教育長**

それでは、議事に入ります。

本日の議題ですが、議案第1号、山武市学校評議員の任命について、議案第2号、山武市いじめ問題対策連絡協議会委員及びいじめ問題調査対策委員会委員の任命について、これらは氏名等の内容が含まれており、公開することにより個人のプライバシーを侵害するおそれがあることから、協議第1号、山武市白幡スポーツ広場の用途廃止については、意思形成過程であり公開に適さない事項であることから、教育委員会会議規則第12条の規定により秘密会としたいのですが、いかがでしょうか。賛成の方は挙手をお願いいたします。

(賛成者挙手)

**教育長**

挙手全員です。よって、議案第1号、議案第2号及び協議第1号は秘密会といたします。

---

◎日程第4 議決事項

○議案第1号

(議案第1号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

**教育長**

日程第4、議決事項です。議案第1号、山武市学校評議員の任命について。

ここからは秘密会といたします。

それでは、提案理由の説明を事務局からお願いします。子ども教育課長、お願いします。

※子ども教育課長から、資料に基づき内容を説明

※審議結果 原案のとおり可決

---

○議案第2号

(議案第2号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

**教育長** 議案第2号、山武市いじめ問題対策連絡協議会委員及びいじめ問題調査対策委員会委員の任命について、提案理由の説明をお願いいたします。子ども教育課長、お願いします。

※子ども教育課長から、資料に基づき内容を説明

※審議結果 原案のとおり可決

---

◎日程第5 協議事項

○協議第1号

(協議第1号は、秘密会につき概要と結果のみ記載)

**教育長** 日程第5、協議事項に入ります。協議第1号、山武市白幡スポーツ広場の用途廃止について、事務局からの説明をお願いします。スポーツ振興課長、お願いします。

※スポーツ振興課長から、資料に基づき内容を説明

※審議結果 原案のとおり了承

**教育長** ここで秘密会を解きます。

---

◎日程第6 報告事項

○報告第1号

**教育長** 日程第6、報告事項です。報告第1号、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果について、報告をお願いいたします。指導室長、お願いします。

**指導室長** 報告第1号、令和3年度全国学力・学習状況調査の結果（山武市の概要）について、また、今後の方向性についてご説明をいたします。よろしくをお願いいたします。資料は10ページをご覧ください。

さい。

全国学力・学習状況調査ですが、昨年度はコロナの関係で実施しておりません。また、今年度については、5月末に小学校6年生、中学3年生を対象に、国語、算数・数学において基礎、応用を問う形で実施しました。

前回、令和元年度との比較では、全国との差が小学校では広がり、中学校では縮まった結果となりました。

分析については、小学校国語では、文章全体の構成を捉え、内容の中心となる事柄を把握するなど、「読むこと」が弱いという結果でした。

算数では、複数の図形を組み合わせた図形の面積、例えば平行四辺形は二等辺三角形が2つあることを理解した上で問うような図形の問題が弱いという結果でした。

また、このような苦手問題では、無解答の児童の割合が、国・県と大きな差で結果がありました。答えていない児童が多かったということです。

また、小数などの計算問題などの応用問題が全国・県との差が大きいため、下がる結果となりました。

中学校では、国語で以前から課題であった「書くこと」が改善され、また無解答率が国・県と比較し減ったことで、全国を0.4ポイント上回る結果となりました。

数学では、応用問題でつまずき、全項目において若干下回っている結果となりました。

また、次に、質問紙調査による家庭生活の傾向について、6問取り上げさせていただきました。その中から(4)については、家庭での学習時間が小中学校共に時間が短い結果となりました。また(5)については、ゲーム使用時間が長いほど正答率が下がる結果が出ました。

このことから市内の小中学生は、家庭での学習時間が国や県と比較して短い結果でした。学習時間が短いことは本年度も改善されていない結果であったため、家庭に協力をお願いしながら、ゲームや携帯等の使用時間を考え、家庭での学習を習慣化していくことが必要であると分析しています。

では、家庭学習を習慣させていくために、市は3点。1つ目ですが、家庭学習の出題について、学級担任、教科担任任せにするのではなく、例えば校内に家庭学習検討委員会等をつくることで、計画的、意図的に出題をしていく。

2つ目、中学校では家庭学習ノートをつくり、ノートのつくり方についても統一する。特に秋田県の全国の学力・学習状況調査で1番を取った成瀬村等で行われているようなものを少しずつ取り入れたいと考えます。

また、定期的に保護者に確認をしてもらうことで、家庭を巻き込んだ体制づくりに取り組んでいきたいと考えます。

小学校は、3つ目です。家庭学習の時間を記録していく。学校と家庭が子どもたちの家庭での学習時間を把握し、結果等を個への支援に生かしていく。

以上の3点を各学校に提示し、各学校で分析した結果を加え、中学校区ごとに具体的な改善策を今月29日に予定しております教務主任研修会において検討していきます。改善策については、本年度から取り組んでいけるようにしたいと考えています。

今後につきましては、進捗状況等を確認するために、教務主任研修会の年間の研修内容に、毎年、昨年度に位置づけたことがどうなっているかということを検証していきたいと思っています。

以上です。よろしくお願ひいたします。

#### 教育長

ありがとうございます。今報告のあった学力テストについてですが、何かご質問等があればお願いします。渡邊委員。

#### 渡邊委員

中学校は2教科、小学校は算数の伸びが見られたのは、非常によかったですと思います。子ども達の頑張りや先生方、支援者の努力の成果だと思います。

小学校の国語が県や国の平均より大きく下回ったことから、読解力をつける対策を講じていかなければいけないと思いました。普段から読書に親しんでいる子は読解力が高いのに対して、本を読んでいない子は、学力検査で初めて文章を読むことに抵抗を示したり、正しく読むことができなかつたりします。

そこで、読解力を高める方法の1つとして、学習材と関連した図書を図書館と連携して用意して、教室や廊下など、すぐ手にできる場所に置くようにしたら良いと思います。そして、課題が終わった隙間時間や家庭で読書することを促すようにしたら良いと思います。

ただ図書室に「好きな本を選んでください」と言うと、読書の傾向が偏りがちですが、学習材をみんなで読み解きながら、同一作者や同一ジャンルのような関連読書をさせることで、読解力の

向上に繋げると良いと思います。

また、テレビゲームをしている時間が多くて、家庭学習の時間が少ないことも問題です。学習材の音読やドリル的な宿題は本当によく出されます。

学習材と関連した読書も宿題に加えて、読書を日常生活で取り込むようにしたら良いのではないのでしょうか。

読解力を高めるために、それぞれの学校がいろいろな方法でアプローチしていくと思いますが、自分で良かったと思う体験を紹介させていただきました。

**指導室長**

ありがとうございます。先ほどご説明しました研修会でも、ぜひ各学校にその旨、話をしたいと思います。また市でも推進していきます。

**教育長**

北田委員、お願いします。

**北田委員**

指導室長から報告がありましたが、小学校の国語を除いて、全国平均と比較して伸びているという報告でしたが、その点については大変喜ばしいことだと思います。

ただ、点数の比較も大事ですが、当然各学校で実施していると思いますが、各学校で個々の分析を十分に行い、そして学校ごとに、学校に応じた日頃の分析を踏まえて学習指導に十分に生かしてもらいたいと考えます。

それで、学力の問題というのは、私も現場での非常に大きな悩みでした。特に学力が私のいた学校では低下してしまっていて、昨年度まで大平小学校の学校評議委員をしておりましたが、その中で感じたことを申し上げさせていただきます。

昨年度、令和2年度、学校評議委員で授業を見せてもらう中で、子ども達は、どの授業を見てもすごく生き生きと取り組んでいました。それが非常に印象に残ったものですから、その後の分科会や話し合いの中で校長に聞きましたところ、どんな工夫をしているかということで伺いましたが、そのときに、1つは職員の充実に気を配っているとのことでした。

例えば昨年度、学力推進指定校である大平小学校では、少人数指導の加配をしていただいたり、あるいはG A Aの支援など、そういうものを活用してきめ細やかな、いわゆる個別指導を充実させるように心がけているというふうなお話でした。



## 清水委員

ですからずっと継続して、毎年やります、やりますというお話は聞いていますが、それが一向に効果が上がらないというのが実態としてあると思います。

ですから、私も前に1回言ったことがあると思いますが、1つ思い切ったことをやってみたらどうかと思います。この問題については、恐らく本市だけの悩みではなくて、悩んでいる市町村はたくさんあると思います。ですから、そういうところでどういうことをやっているのかというのはきちんと検索すれば、県に確認したり、あるいは資料を調べれば、いろいろ分かると思います。

特に東北地方の秋田県、山形県などは、全国トップランクでいつもすごく点数がいいんです。それから最近は、新潟県など向こうもよくなってきていると聞いていますが、その辺の状況というのはどうなのか。

それから、前に1回提案したことがあったと思いますが、山形県とか秋田県で何をやっているのかというのを実際に見に行き、聞きに行き、それらのいいところを、まねできる場所があったらまねをする、そういう気構えがあってもいいのかと思いますが、その辺の決意というのを今日はお聞きしたいです。

## 指導室長

決意ですね。今、特に秋田県の東成瀬村が常にナンバーワンだと思っています。そこは、実際に塾に通っているかという塾に通っている児童生徒は非常に少ないと。とにかく地域、中学校区、決して多い学校地区ではないということを伺っていますが、小中学校、例えばどの担任がどの学年に入ってもやることを統一させているというのがまず第一で、そのときに必ず家庭等も巻き込みながら、自分でどんどん突き進んでいけるような家庭学習の体制づくりをしているということ伺ったので、まず、本市も実際にやっているところと。ノートを使っているところ。

例えば東成瀬村ですと、ノートは必ず2冊つくっているとか、担任が今仕事に追われていて、毎日すぐ見なくてはいけない、すぐ返さなければいけないではなくて、1日並行して使いながら十分なノートづくり。ノートにきちんと家庭で学習したことを子ども達がまとめられるような、そういう体制づくりをしているということ伺い確認できましたので、これであれば山武市もやっている学校もあるので、やっていない学校についても、これらの統一的なノートづくりというものが浸透していけるのではないかと

ということで、1つ提案をさせてもらっているところです。

清水委員

それから、そういう状況の中で、モデル校を昨年か一昨年につくって、GAAの配置や、それから特別支援員の配置をやっているはずです。その状況はどうですか。ほかのモデル校以外の学校に比べて成果が上がっているのかどうか。

成果が上がっているのだとすれば、やはりもう少し広げてもいいし、成果が上がっていないとすれば、それはどこが原因なのか。それをきっちり検証して、もう一回やり直さなければいけないと思います。その辺はいかがですか。

子ども教育課長

先ほど話に出てきた推進指定校がそれに当たるとは思いますが、そちらにつきましては、昨年度4校を指定させていただきまして実践をし、支援員等を配置しながら、またGAAを活用しながら取り組んできたわけですが、子ども達の成果としては上がっているという報告が出ております。

今年につきましては、2校を指定させていただき行っていますが、そこについても、これからどういう状況かということはお出てくると思いますが、毎年指定校は変わっているものですから、同じ学校が継続して実施しているというようなどころではありません。ですが、これまでの実績からすると、そこに当たった学校については効果が出ているという報告が上がっております。

北田委員

教育長、よろしいでしょうか。

教育長

北田委員、お願いします。

北田委員

今の件ですが、私の発言の中でお聞きしたかと思いますが、具体的に言いますと、私は大平小学校だけしか見ていませんが、3年前と比べ、昨年度は改善されています。

ただ、それがその後の全国学力状況調査の結果と連動しているかどうか、そこまで私自身は確認していませんが、1校だけですが、確実に私が見た範囲では成果が出ていると思います。後でそれが繋がってくると、さらに底上げにもなってくるかと思えます。

渡邊委員

よろしいですか。

教育長 渡邊委員、お願いします。

渡邊委員 昨年度は、私も睦岡小学校にG A Aとして支援に行きました。千葉県の学力検査で3年生は13点程度、平均より上でした。

ただ、学習サポーターもG A Aも算数のみの支援です。

先ほど、北田委員がおっしゃったように、算数はなるべく多くの職員が近くにいることによって、その場で解決していったら、学力が向上しますが、国語の学力を上げるのが課題だと思います。

清水委員 よろしいですか。

教育長 清水委員、お願いします。

清水委員 次に小学校で国語の落差が、県と国との差が大きいというのは今、渡邊委員も北田委員もおっしゃったように、非常に大きな問題です。

国語というのは、やはり問題を解く力ですから、算数の問題も国語ができないと問題が解けません。そういう部分もありますから、算数にも連動してくるということになります。算数の力はもちろん大切ですが、国語の力も十分上げるような、そういう方策が必要なんじゃないかと思います。

ですからこういう状況について、毎年、山武市はこうしていくという前提を持ち、緊張感を持って各先生方は取り組んでいただきたいと思います。

私からは以上です。

教育長 ありがとうございます。先生方の緊張感はどうですか。

子ども教育課長 本日、午前中に担当課長会議及び校長会議が東上総教育事務所でありました。その中でもこの全国学力テストについて話がありまして、東上総教育事務所から学力向上の取組ということで、学校、教育委員会にお願いするということで4点話がありましたので、参考までに読ませていただきたいと思います。

1つ目、全国学力テストの分析につきましては、結果を教育活動の改善や授業改善に活用しているという学校が多いが、結果に反映されていないという状況を踏まえ、各学校の校内研修等において今年度の問題を解き、設問の趣旨や内容から今求められてい

る力を捉え、授業改善の方向性について話し合い、研修をご検討いただきたい。

2つ目、「思考し、表現する力」を高める実践モデルプログラムの活用ということで、実践モデルプログラムの本来の狙いを理解し、授業改善、授業実践に取り組んでいただきたい。また、自分の言葉で学習のまとめを書くという取組を推進していただきたい。

3つ目、家庭学習の充実ということで、東上総管内では、家庭学習の時間が全国平均と比較して大きく下回っている現状を踏まえ、各学校で家庭学習の充実が図られるよう創意工夫していただきたい。

4つ目、きめ細かな指導の充実。チームティーチングや少人数指導、また学習サポーターなどの効果的な指導について再度検討し、児童生徒一人一人へのきめ細やかな指導の充実を図っていただきたいということでした。

山武市の各校長、それから教育委員会でも緊張感を持って取り組めるように、校長会議でも確認していきたいと思います。

## 教育長

今言われた4点はまさにそのとおりですが、そのことは今回の分析でわかったことではなく、ずっと前から同じですね。家庭学習、きめ細やかな指導。それができていないとの指摘を受けているので、それに対しては、やはり具体的な取り組みをどんどんしていかなければいけないと思います。

学力推進指定校の取り組みを始めて、そこでは効果が上がっているという報告もあり、それをどう指定して効果が出たものをほかの学校に展開していくのか、どういう形を取って波及させていくのか。指定校が毎年変わっていくことについて、指定したときはいいが外れたら成績が下がってしまう。その効果が得られないといったのでは、せっかく指定し、そこでやっている意味がなくなってしまう。

結局、指定した内容というのは、その成果をきちんと市内で共有させて、全体のレベルアップを図るというのが目的でやっていますので、そういったところもきちんとした対策を行い、分析の結果、出てくる答えはそんなに変わらないと思います。そのところをどうしようかというのはやはり、清水委員が言われたように、先生方がどれだけの成果を出していこうかという思いを持つか、それこそ緊張感を持って取り組むということになってくると

思うので、そこは指導室を中心に、さらに踏み込んだ対応ができるようにしていかなければならないと思っています。

今度、11月1日に実施する山武地区教育委員会連絡協議会の研修会において、横芝敬愛高等学校の白鳥校長に学習についての話を聞くことになっていますが、元々は、市校長会と教育委員との協議会の中での研修で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響で開催が延期となっているものですが、これは実際に校長会との協議会、学力アップについての協議会でまた行っていきたい、新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いてきたら実施したいと思いますので、その計画もきちんと実行できるようにしてもらいたいと思います。

そういったことをやはり教育委員会としても、委員の皆様から厳しい言葉をここ数年いただいているにもかかわらず、あまり状況が変わらないというのはどうかと思います。

順位のみで評価をするのは、競争を招く恐れがあるといったことはわかりますが、これぐらい頑張っただけの結果、点数が上がっているとか、取り組んできたことの成果を評価するという意味でも、そういったことは必要であると思います。

清水委員

山武市のこの結果は、市の中でも相当悪い方であると思います。恐らく最低に近いランクだと思います。ですからそういう意識を先生方や、担当の皆さんがお持ちなのかどうか重要です。

北田委員

よろしいでしょうか。

教育長

北田委員。お願いします。

北田委員

教員の緊張感が一番の基本ですが、先ほど言ったように、財政部署に積極的に働きかけて、これだけの効果が少人数指導などで、数をつけることによって上がっているということをデータで示して要求していけば、財政部署も認めてくれると思います。

ただ、費用がかかる問題ですから、限られた財源の中でというのがいろいろあると思います。ただ、教育の重要性と効果や成果。それを踏まえて要求していくのも1つの方法ではないかと思います。

教育長

様々なパターンが考えられると思うので、そういったことを山

武市としてどの様に展開できるかという議論は、やはり必要だと思しますので、今後も継続してお願いしたいと思えます。

ほかにございますか。よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

---

○報告第2号

**教育長** 報告第2号、行事の共催・後援について、事務局からの報告をお願いいたします。教育総務課長、お願いします。

**教育総務課長** 報告第2号、行事の共催・後援でございます。資料は12ページからとなります。

9月中に許可をした行事の後援でございますが、3件でございます。共催はありません。

資料は、13ページから19ページとなります。ご確認をいただきたいと思えます。よろしくをお願いいたします。

以上です。

**教育長** 資料は、ご覧になっていただいていますでしょうか。特に何か質問等がございますか。よろしいでしょうか。

(「はい。」の声あり)

---

○報告第3号

**教育長** 報告第3号、11月の行事予定についてです。これにつきましても、資料を事前にご確認いただいておりますので、事務局からの説明は割愛させていただきます。

質問等があれば、よろしくをお願いいたします。特によろしいですか。

(「はい。」の声あり)

---

○その他

**教育長** それでは、そのほかに報告すべき事項がありましたら、お願いします。教育部長、お願いします。

**教育部長** 資料を配付させていただきますが、本日、成東学校給食センタ

一で給食を調理していた際に、異物混入があったということでの報告です。

11時30分頃、本日の調理が終わった後の清掃をしていた際に、さいの目切り機。ここに添付のさいの目切り機という写真がありますが、ここの刃が欠けているのに気がつき、現場の職員から報告があったということです。

そのときには、欠けた刃がその周りで見つからなかったのも、これは給食の中に入ってしまったのではないかとといったことです。なお、サツマイモサラダの調理をしていたときに使った器具だそうなんです。その中に、恐らくこれは混入している可能性があるということで学校給食センターで判断し、11時45分頃、提供を差し止めるということで、各学校に既に配送はしていましたが、今日の給食のおかずのサツマイモサラダについて提供はしないというお願いを各学校にお願いをして、止めたという事例でございます。

本日、今後、各学校に学校給食センターからおわび文と、保護者については、メールを配信しておわびをするということで準備をしているところです。

この写真の次のページに刃の、これは発見された分の刃だと思われませんが、このぐらいの大きさの刃こぼれがあったということの報告です。メーカーのほうに連絡をして、今修理の手続きをしております。

明日の給食につきましては、この機械を使わないで調理できるもので提供をするということで、今対応するという事を考えているそうです。

再発しないための取組に努めてまいりたいと思います。報告は以上でございます。

教育長 写真の細かい金属片は、刃が欠けたものですか。

教育部長 恐らく欠けたものと思われまして。

教育長 この金属片はどこで見つけたものですか。

教育部長 学校給食センター内で見つけたものです。ですから、調理した中から出てきたものではないと思います。

教育長 調理されたものの中からはではないのですね。

教育部長

サラダの中から回収したものということではないと思います。また、これを機会にほかも点検していただいて、こういうことがないようにしていきます。

教育長

分かりました。お願いします。

この様な事案がありましたが、今、新学校給食センターの建設に向けて進んでいます。老朽化した調理器具で心配があるかと思いますが、よろしくお願いします。

教育部長

申し訳ございませんでした。

教育長

ほかにございますか。指導室長、お願いします。

指導室長

教育委員会D I A R Yについてご説明をさせてください。よろしくお願いします。ページは、21ページから23ページになります。

まず、21ページですが、幾つかご紹介をさせていただきます。

緊急事態宣言の解除に伴う学校の対応について、市内の小中学校は感染対策を引き続き徹底した上で、原則、通常の教育活動を実施することとし、感染リスクの高い活動については、活動内容や方法を工夫することを確認させていただきました。

特に子ども達とその保護者への説明を丁寧に行うことで、ご理解、ご協力をいただきながら教育実践していくように、10月の校長会において確認をしたところでございます。

次に、英語推進授業については、特に中学3年生が入試に向けてのラストチャンスとなる生徒が多いので、どの学校も中学3年生が英語力アップ講座に参加していました。

市では、中学卒業時に3級以上の取得率50%を掲げております。目標達成のために、本年度は各学校においても目標をそれぞれ掲げ、取り組んでいるところでございます。3月に良いご報告ができるように、引き続き、授業の推進に努めてまいりたいと考えています。

次に、22ページの子ども教育課ですが、(2)指導室への連絡・相談です。学校からの職員関係のことが多かったです。内容については病欠等で欠席しがちだとか、そういう職員関係のことで幾つかご相談がありました。

保護者からは、通学路、部活動、学校行事、進路関係等での相

談が多かったです。これからは特に日が短くなっていきますので、児童生徒の登下校、また、教職員の車での事故には注意喚起を再度、指導室からお願いをさせていただきました。

23ページ、写真ですが、日向小学校では実際に新型コロナウイルス感染症対策として、密になることを防ぐために、1つのクラスを2つに分けて授業実践を行っている写真を掲載させていただきました。

また、教育委員会庁舎の入り口に置いてあるサンパチェンスは、成東東中学校から頂きました。現在も指導主事が水やりをやっておりますので、元気に咲いております。ご覧いただければと思います。

オリパラ推進事業では、サジー氏が講師として大平小学校に赴き、スリランカについて講義をされました。また、多くのこういった講師で、英語を中心に外国の文化に触れる小学校への講座、行事等を現在も推進しているところでございます。

一番下の10月1日の作田川の写真は、左側から水が氾濫している様子でございます。少し心配がありますので、避難先の小学校とは、今後も連携を密にしながら確認していきたいと考えております。

以上です。よろしく申し上げます。

**教育長**

ありがとうございます。ただ今の教育委員会DIARYについて、何かご質問等がありますか。よろしいですか。

(「はい。」の声あり)

**教育長**

ほかにございますか。子ども教育課長、お願いします。

**子ども教育課長**

11月の行事予定の中で、11月11日に教育委員会第11回定例会がございしますが、本来であればここで、今日こども園に訪問したような教育委員の学校訪問がありますが、日程が当初の予定よりも早まったということがあり、本当であれば松尾中学校に行く予定でしたが、松尾中学校が11月12日に体育祭を予定しておりまして、教育委員が訪れる時間が、ちょうどその体育祭の準備というところに当たっており、そういう事情もありまして、11月の教育委員の学校訪問は中止とさせていただいております。申し訳ありませんが、よろしく申し上げます。

教育長

ありがとうございます。11月に予定されていた松尾中学校の学校訪問は中止となるということですね。

ほかにごありますか。

それでは、ほかはないようですので、以上で教育委員会第10回定例会を終了したいと思います。ありがとうございました。

---

◎閉 会 午後 2 時25分